Bluestem OS の新機能

バージョン 1.3.17（現在のバージョン; 2018 年 12 月 12 日リリース）

ソフトウェアバージョン 1.3.17 には、バグの修正とパフォーマンスの改善が含まれています。

・新機能

USB ポートに保存されたファイルへの自動プログラムアクセスアクセスが可能になりました。

・修正されたバグ

設定ディレクトリが存在しない場合にファイルシステムがルートレベルから構成ファイルを読み込もうとして、アクセス権の問題が発生する問題を修正しました。これにより、ファイルシステムは設定が欠如していても受け入れ可能なディレクトリを調べます。

ある状況下においてマッチバルブが自動マッチモードから完全に回復しない問題が修正されました。

バージョン 1.3.14（2018 年 10 月 4 日リリース）

・新機能

Chamber Manager 画面（計算、アパーチャなどを選択する最初の画面）Configuration Manager（UI は読み込みと保存の設定画面である）との自然な重複があります。バージョン 1.3.14 では、その不一致を解決するために努力しています。

たとえば、完全な蛍光光度計（FF）から光源のみ（LSO）、または非土壌から土壌に変更した場合、Chamber Manager 画面で蛍光分析または土壌のレファレンスを追加または削除するためにグリッドやグラフを変更（または取得）できます。一方、Chamber セクション（設定ファイルが保存されたときの Chamber Manager の状態を反映する）を含む設定ファイルがある場合、現在の Chamber で使用できないオプションが存在する可能性があります。

Q1：「不適切な」チャンバーオプションを持つ設定ファイルをロードすると、Configuration Manager はどうなりますか？設定のチャンバー選択が、現在接続されていないチャンバー用である場合、そのチャンバー情報は無視されます。

Q2：設定ファイルと現在の設定が蛍光光度計用で、設定ファイルのチャンバー部分が現在の設定とは異なる FF / LSO を要求するとどうなりますか？それは変更されますか？また、グリッドやグラフの工場出荷時の設定を自動的に引き起こしますか？実施されている設定ファイルのグリッド/グラフの部分がある場合はどうなりますか？

以前のバージョンのソフトウェアではこの問題があらゆる方法で処理されていたため、ユーザーからさまざまな苦情が来ていました。

バージョン 1.3.14 によるこの問題の処理方法は次のとおりです。:

Chamber Manager 画面で FF / LSO を変更すると、グリッドやグラフの工場出荷時のデフォルトにリセットされます。 （つまり、あなたのグリッド/グラフの定義が失われる可能性がありますが、それらがアクティブでない場合は蛍光測定レファレンスが表示されません）。

Configuration Manager で FF / LSO を変更しても、ロードされている設定にグリッド（またはグラフ - それらは独立している）がない場合、グリッドまたはグラフの工場出荷時のデフォルト設定にリセットされるだけです。

最終的には、FF または LSO を指定する設定があり、それにグラフおよびまたはグリッド定義が含まれている場合、その ENTIRE 設定を実施（実装）すると、予想通りにすべての部分が実施（実装）されます。

拡張

・ヘッドおよび蛍光光度計の時計をコンソールに同期させることができます。
・最新のシステム/ウォームアップテストの結果がスナップショットファイルの最後に追加されました。
・ファイルピッカーのソートには、明示的なワイルドカードは必要ありません。
・ヘッド／蛍光光度計とコンソールの間に時間差がある場合は、分単位または時間単位で表示されます。
・最新のシステムウォームアップテストの結果がスナップショットファイルの末尾に追加されました。
・le view フィルタリングでワイルドカード文字が使用されるため、入力する必要はありません。
・新しい標準：光源（蛍光光度計ではない）が接続されている場合、スリープモードを終了するとスタンバイモードから抜けます。
・リストの一番上に挿入されたユーザー変数定義を追加しました。
・ファイルリストビューワーのすべてのフォルダに展開／折りたたみを追加しました。
・すべてのファイルビューア／ピッカーには、ディレクトリパスの順序（ブレッドクラム）が表示されます。
・温度制御調整器のステップ設定は、電源を入れ直しても保持されるようになりました。 また、温度制御の出荷時設定へのリセットの一環として 1 にリセットされます。
・Chamber manager の部屋の図は現在のリーフエリアを使用します。
・蛍光光度計のウォームアップテストが合格しやすくなりました。
・Basic cal：F_farred、F_modred の範囲を広げました。u_red にとってよりよい値。
・最初の推測：5%または 10 μmol。現在は 10%または 20 μ mol。
・交差感度：切片と傾きは 3 および 0.02 でした。 現在は 5 および 0.05。
・コントロールマネージャーと設定マネージャーのやり取り（前述）。
・末尾が.xlsx のファイルは、プライマリーログファイル（テキスト）として使用できなくなりました。 これはそれらのファイルが追加されるのを防ぎます。
・蛍光光度計イベントファイルのクリーンアップのためのオートプログラムを追加しました。指定した日数より古いすべてのファイル（および空になった場合はディレクトリ）を削除します。自動プログラムは 4 つのステップでシステムダイアログボックスを開きます。1）影響を受けるファイルの数のカウント、2）OK またはキャンセル 3）（OK の場合）ファイルの削除、および 4）削除されたファイルおよびディレクトリの最終カウント。
・USB ファイル表示インターフェースの改善。
・非蛍光ロギングは蛍光結果ページを消去しなくなりましたが、記録されたデータ記録の蛍光部分は消

去されます。

修正されたバグ

・ファイルビューワー（ソートなど）を使用しているときのフリーズを解消
・IRGA キャリブレーションモードはフロー状態を変更したままにする可能性があります。
・「外部」熱電対オフセット補正がログファイルに入りませんでした。それらは今は、Meas グループの Offset と Offset2 にあります。
・PS / 2 と Adark が工場出荷時のデフォルト設定ではありませんでした。
・最後に使用された蛍光平均化時間は、スタートアップ時には使用されていませんでした。
・フル蛍光光度計と光源の間で設定を変更しても、現在は期待通りに動作するはずです。
・ウォームアップテストの蛍光光度計のクロス感度オフセット制限を 2 から 3 に変更しました。
・蛍光光度計の結果ページは、（蛍光光度計以外のログ後）消去されるべき時に消去されず、定数が消去されるように編集されるまで待機していました（更新の問題）。
・MPF ランプと RF 持続時間の固定単位。
・最後に使用されたシステム定数（酸素、平均時間）がスタートアップ時に使用されていませんでした。
・最後に使用されたガス交換定数がスタートアップ時に使用されていませんでした。
・接続の[詳細の表示]ダイアログの[閉じる]ボタンがテキストを覆っていました。
・その他のタイムゾーンボタンラベルの問題。
・土壌ポンプ速度が保存された土壌設定に入っておらず、ウォームアップテスト後に復活しました。
・スリープによる土壌測定の停止が解消されています。
・マジック土壌エリアに入ることで標準設定に戻すことができます。
・オートプログラムの推定実行時間の四捨五入を修正しました。
・AutoEnv.に現在は Digital I/O があります。
・分析ログでファイルを開くことができなかった点。
・ファイルピッカーのソート：USB でクラッシュしました。 ファイルサイズと日付が間違っていました。
・選択バーを動かさずにファイルピッカーでファイルを 2 回続けて削除すると、UI がクラッシュしていた点。
・ファイルピッカーは/ home / licor / logs /ディレクトリを削除するように作られていた可能性があります。
・ユーザー定数定義を#digits から-1 に変更します。
・制御ループオートプログラムのターゲット変更に表示上の問題がありました。 （注：表示は次の設定値の後まで正しくありません）。
・Analyze Logs 用のファイルを開けません。
・設定 USB ビューでファイルツリービューアがクラッシュする。
・ローカルファイルビューアの設定エクスポート画面のルートが正しくありませんでした。
・ユーザー定義を定数から変数に変更すると、有効数字の設定が-1 になっていました。
・AutoProgram の制御対象を変更しても表示が更新されませんでした。

さまざまな FileViewer のバグ：

・ファイルの削除、拡張フォルダ、ナビゲーションバー

・USB にコピーしたファイルの問題を解消しました。

・USB ファイル表示が空白になり得ました。（同じページで取り出しと更新が行われる画面上）。

・アンマウントが呼び出される前の、現在のディレクトリが USB デバイスから変更されました。

・土壌ポンプのウォームアップテストがクラッシュしました。

・ユーザー設定および AutoEnv では、設定の保存/読み込みが機能しませんでした。

・シャットダウン中に一時的にキャンセルキーが表示されていました。

・TLeaf 警告は、完全なガス交換計算に対してのみ存在するようになりました。 （フラックスのみについては未確認です）

・ダークパルスの値は右に大きくなりすぎる可能性がありました。

・流量制御は、マッチバルブが正しくないモードになる可能性がありました。 マッチングを終了する（またはフロー制御で工場出荷時設定にリセットする）ことで正確になります。

・最初の記録で昆虫の呼吸が激しくなることがありました（Excel ファイルに記録している場合）

・10 文字未満のユーザー定義の文字列の値は表示時に切り捨てられます。

・適切なディレクトリが存在しない場合、土壌フラックスファイルビューアは不適切なディレクトリを指す可能性があります。

・ダークパルスプロットエラー（タイムスケールのオフセットが間違っていました）

・ログ中に Match と Flash が機能しませんでした。 （問題は Offset と Offset2 で、最近 Meas グループに追加されたものです。平均化を妨げてログを中止する文字列に変わる可能性がありました）

・ログの前にユーザープロンプトがユーザー定数を更新しませんでした。

・FF / LSO が一致しない設定からロードした場合、グリッドとグラフの定義が有効にならなかったようです。

・接続されていない光源にゼロ以外の荷重係数を追加すると、Qin が 0 になっていました。

・無効な数量の入力に伴う問題を修正($%^ &*など)

・バックエンドによって処理された場合、永久に保留になっていました。

·UI（QPainter 以外の数字）で処理した場合、有効な数字が入力されるまで NAN が最初の設定になっていました。x はどちらの場合も 0.0 の入力に変換され、透過的に処理されます。

·S、K、および Geometry は工場出荷時の設定では設定されていませんでした。

·蛍光光度計のウォームアップテストを実行した後、いくつかの蛍光光度計の測定設定が復元されませんでした。

·Adark と PS2 / 1 は電源を入れ直しても保持されませんでした。

·葉の温度定数が、電源を入れ直しても保持されませんでした。

·一部の項目（Adark、ETR）が手動フラッシュでは更新されませんでした。

·サンプルセルフローキャリブレーション結果グラフに、重なっている x 軸ラベルがありました。（強制的に軸の最大数を 2000 にすると、ラベルの間隔が改善されます）

·さまざまなファイルビューアの問題。

·名前の変更後に誤ったファイルが選択されました。

・スクロール時にディレクトリがランダムに開いていました。
・ログ分析の問題：プロットされたデータグリッドが列を失う可能性がありました。
・新しい設定ファイルに保存しても、ファイルが選択されていませんでした。
・設定ファイルをロードすると、存在するかどうかにかかわらず、すべてのオプションが有効になりチェックされていました。
・構成マネージャーが、retain = True のトピックを多数発行していました。
・環境光源、および寄与する光源の荷重係数が、電源を入れ直しても保持されませんでした。
・工場出荷時のデフォルト設定でフロー制御と葉温制御が設定されていませんでした（問題は 1.3.11 で紹介されました）。
・PostFlash がリーフ温度制御ループおよび／または VPD 制御ループに干渉していました（例：一般的な応答）。 これを解決するには、リーフ温度または VPD 制御目標が最後に設定された時刻を追跡します。新しい VPD または Tleaftarget から 10 秒以内に PostFlash が起動されると、Temp または H2O コントロールのロックがスキップされます。
・現在は、ファイルビューワーでホームアイコンをタップすると、開いているすべてのディレクトリが折りたたまれます。
・保存／読み込み設定ファイル：保存ボタンと新規ファイル（または読み込み）ボタンを有効にするには、少なくとも 1 つのカテゴリをチェックする必要があります。
・USB 関連のファイルビューワーとコピーに関する多くの問題（スペース不足メッセージ、ディレクトリコピーの失敗など）
・暗い順応フラッシュの後、蛍光計の定数 Adark は定数ページより遅れます。
・A、Qabs、PhiPS2 が、手動フラッシュライトの結果に遅れをとっていた。
・ログ内の文字列備考にサンプリング期間を追加し、安定性基準の変更に注意しました。
・開口部が満たされていないと、蛍光計の葉の面積図におかしなギザギザが現れていました。
・RF 期間と deltaTW の単位エラー（comcon.py）。
・キーパッドが使用された prompts-on-log の後、蛍光スクリーンは消えます。
・コンソールにコピーされた USB ファイルは、root が所有しなくなりました。
・誘導閃光時間の単位を固定しました。（s　- > ms）
・スタートアップ設定チェックボックスは現在、（ファイルが選択されるまで）すべてオフになりました。
・スタンバイモードでは現在、ライトタブの緑色のインジケータが消えます。